

令和4年度・取組と実績
(3R推進協議会構成団体)

株式会社 いなげや	1 ページ
株式会社 京王ストア	
キッチンコート神楽坂店	2
生活協同組合コープみらい	3
株式会社 三徳	4
イオンマーケット株式会社	5
株式会社 マルエツ	6
丸正チェーン商事株式会社	7
株式会社 ファミリーマート	8
株式会社 三越伊勢丹	9
株式会社 小田急百貨店 新宿店	10
株式会社 京王百貨店	11
株式会社 高島屋新宿店	12
株式会社 丸井 新宿マルイ本館	13
株式会社 ルミネ	
ルミネ新宿・ルミネエスト新宿	14
株式会社 エフピコ	15
日本マクドナルド株式会社	16
コカ・コーラ ボトラーズ	
ジャパン株式会社	17
新宿区商店会連合会	18
新宿区生鮮三品小売店連絡会	19
四谷清掃協力会	20
牛込清掃協力会	21
新宿西清掃協力会	22
新宿区婦人団体協議会	23
新宿区エコライフ推進協議会	24
NPO法人 新宿環境活動ネット	25
新宿区のリサイクルを考える会	26
新宿環境リサイクル活動の会	27
新宿区リサイクル活動センター	
(公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター)	28
新宿区	29

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : (株)いなげや

◎環境・3Rに対する考え方

当店では、店頭での資源回収の他、野菜くずを使った食品リサイクル、リサイクルトレーでの精肉の販売など、会社全体として3R推進に取り組む。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	レジ袋有料化の継続 店内放送・POPなどの告知 媒体でマイバッグ持参のPR 実施 ギフト箱の簡易包装推奨 辞退率の低い店舗の要因分 析・対策	レジ袋辞退率の 3%アップ(8 0%台) ノンラベルペット ボトル商品販売拡 大(数量未確定)	
(2)	資源の店頭回収の推進	店頭回収の継続実施 (紙パック・プラトレイ・ ペットボトル) 資源分別の啓蒙	ペットボトル圧縮 回収機増設(2台以 上)	
(3)	食品ロス・使い捨てプ ラ スチック削減の推進	発注精度の向上 在庫の適正化 ワンウェイプラスチック製 品の削減	・ワンウェイプラ スチック製品使用 前年比7%削減 ・食品廃棄量前年 比3%以上削減	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー の活用などゼロカー ボンの推進)	食品残渣の飼料化・肥料化 推進 ワンウェイプラスチック製 品の削減 オリコン(通い箱)活用・ ダンボール削減 資源分別の啓蒙	食品リサイクル率 前年比2%増 ワンウェイプラ スチック製品の使用 前年比7%削減	

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：（株）京王ストア キッチンコート神楽坂店

◎環境・3Rに対する考え方

京王ストアは、新宿区の皆様方と協働で3Rの推進に協力致します。エコマーク付き商品をはじめ、リサイクル商品、無添加商品など、無理なく環境への影響を少なくする商品を幅広く用意している。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POPでマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・簡易包装の推進 ・声掛けなどの実施 	レジ袋削減に向けてレジ袋辞退率75.0%の実現(全店平均)	
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収3品目(牛乳パック・トレイ・ペットボトル)を継続して実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収品目ごとに各種1台ずつを継続 	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	詰め替え品の販売促進	継続実施	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品残渣のリサイクルの検討 ・コピー用紙の削減 ・センター納品による(段ボール削減) 	継続実施	

◎取組の実績と今後について

--

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 生活協同組合コープみらい

◎環境・3Rに対する考え方

「100年後の地球のために」を合言葉に、生産から消費まで、つくる人・つかう人の双方の立場から責任ある事業と活動を進め、持続可能な社会づくりに貢献します。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙・トレイなど)	1980年代からレジ袋有料化を行い、マイバッグ持参の呼びかけを行って行く。バイオマス資源を活用したレジ袋の活用を進める。	継続・実施	令和4年度 レジ袋辞退率 86.0%
(2)	資源の店頭回収の推進	宅配事業においては商品配達時に、店舗では店頭で、PETボトル、食品発泡トレー、食品透明容器、アルミ缶、卵パック、飲料パック(ABパック含む)、PETボトルのキャップなどのリサイクル資源を回収しています。	リサイクル広報強化に取り組み、回収量を増やします。	コープみらい(千葉・埼玉・東京の合計) 資源回収量計: 31,478t 回収したペットボトルキャップをリサイクルした買い物かごを一部店舗に導入しました。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の事情等で組合員に提供できなくなった食品をフードバンクに寄贈しています。 ・コロナ禍の影響で、行き先の失った産地の農産物や牛乳を訳を伝えて積極的に販売します。 ・不揃い・ハネっこ・天候被害など規格外農産物を訳を伝えて積極的に販売します。 ・商品の納品期限(1/3ルール)を見直し賞味期限180日以上の商品について1/2ルールで運用しています。 ・容器包装プラスチックの使用量削減に向けて、PB商品の包装簡略化・軽量化、詰め替え商品の利用推進、再生プラスチック・植物由来プラスチックを活用した商品開発を進めています。 	<p>継続・実施</p> <p>環境配慮商品の認知度向上に向けて、店内POPやポスターのあり方を見直します。</p>	<p>コープみらい全体でのフードバンクへの寄贈: 55.3トン</p> <p>宅配でお届けするカタログを包装するビニールを薄肉化し使用量を削減。</p> <p>再生プラスチック・植物由来プラスチックを容器包装に使用したPB商品は512品に拡大しました。</p>
(4)	事業系ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・食品残さ、魚あら、廃食油、古紙、発泡スチロール、段ボール、古紙のリサイクルを行っています。 ・物流センターや店舗から排出される食品残さは、飼料化・堆肥化・BDF化に加え、バイオガス発電を行い、発電された電気はコープの各施設や「コープデリでんき」として組合員の過程で利用されています。 	継続・実施	コープみらい店舗での令和4年度の実績は94.4%でした。

◎取組の実績と今後について

「コープデリグループのSDGs重点課題～2030年までの長期目標と中期方針～」を策定し、目標の達成に向けて取り組みました。組合員とともに進める取り組みを強化し、事業者と消費者とともに3Rを推進します。

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : (株)三徳

◎環境・3Rに対する考え方

三徳は「環境問題への取り組みが企業の存在と活動に必須の要件である」事を認識し、「ものの生命を大切にする」「生かされていることに気付こう」という三徳の心の実践として、自主的かつ積極的な責任ある取り組みとして、全社・全従業員をあげて地球環境保全に努める。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新店オープン時マイバッグをプレゼントして協力を呼びかけ ・辞退者へのエコポイント付与 ・ノーレジ袋カードの設置 ・マイバッグの販売 	レジ袋削減 持参率30%	
(2)	資源の店頭回収の推進	<p>資源物の店頭回収を継続して実施(トレー、牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶)</p> <p>ペットボトルは包装業者と協力してリサイクル拡大</p>	不	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	詰め替え品の販売促進	不	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な販売計画と売り切る工夫で廃棄を削減 ・リターナブルコンテナの利用を拡大し、産地直送、農家、生産者との協力 	食品リサイクル率 前年度比5%増	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名： イオンマーケット株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

地域のお客さまの「毎日の暮らしと環境に配慮した行動」のお役に立てるスーパーマーケットを目指します。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	プラスチック製レジ袋を有料配布（LL5円・L3円）とし、お客さまへマイバッグご持参を呼びかけ、使い捨てプラスチックの削減に取り組みます。有料レジ袋はバイオマス素材配合のものを使用しています。（LLサイズ50%、Lサイズ30%）	レジ袋辞退率を維持し、少しでも使い捨てプラスチックを減らせるよう、お客さまへのご理解とご協力を呼びかける。プラから紙等への素材の変更も検討する。	
(2)	資源の店頭回収の推進	紙パック トレイ ペットボトル 店頭回収の継続実施	継続実施。お客様のご協力による取組のため、数値目標なし。	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	お客さまのご家庭でゴミが減らせるよう、食べきり少量パック、ばら売り、詰め替え用商品の取扱いを推進する。また地域のフードロス削減に寄与できるよう店舗でのフードドライブ活動を検討する。	店舗ごとのニーズに応じて品揃え。数値目標なし	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	食品廃棄物の減量化推進とリサイクルの推進を継続する。	食品廃棄率の監視を行うことで発生抑制につなげ、分別により確実なリサイクルを推進する。食品リサイクル率引き上げを目指す。	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 株式会社マルエツ

◎環境・3Rに対する考え方

お客さまと地域社会の未来を見据えた環境保全活動を進める。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POP等でマイバッグ持参の呼びかけを実施 ・レジ袋削減の推進 ・ばら売りの実施(青果・果物) ・ギフト品の簡易包装の推奨 	レジ袋辞退者数アップ 目標：前年差人数アップ	
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭で2品目(紙パック・食品トレイ)を区内8店舗で回収 ・ペットボトルキャップの回収(売却益を途上国のワクチン第として寄付) 	回収2品目は、前年比2.0%アップ	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<食品ロス> <ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、掲示物等によるお客様への啓発活動の実施 ・従業員に向けた教育、意識付け <使い捨てプラスチック削減> <ul style="list-style-type: none"> ・店頭回収の牛乳パックからトイレロール等に再生・販売 ・詰め替え商品の販売 	プライベートブランドうれしいシリーズの拡販	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品廃棄の削減 ・古紙リサイクルの推進 ・社内環境教育の実施 ・食品リサイクルの実施 	食品リサイクル法の再利用実施率前年維持向上	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 丸正チェーン商事(株)

◎環境・3Rに対する考え方
区内事業所への削減指導の強化

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	区内店舗のレジ袋有料による50%削減を目指す。 マイバック持参キャンペーン等	レジ袋の使用量 マイナス50%	-25% 持参率75%
(2)	資源の店頭回収の推進	ペットボトル圧縮機器の採用により、リサイクルユースへの対応を増加させる。	各店舗独自に設定	やや増加 (数値不明)
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	バラ売り、裸売りを増加させる。 環境にやさしい資材の導入を検討する。	各店舗独自に設定	やや増加
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	3Rの基づいた対応の強化	各店舗独自に設定	不明

◎取組の実績と今後について
全体的には促進も、速度は、やや弱まっている。

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：株式会社ファミリーマート

◎環境・3Rに対する考え方

環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献する為、2030年及び2050年に向けた中長期目標として、「ファミマecoビジョン2050」を策定し、「温室効果ガス（CO2排出量）の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマにもとづき、中長期的な数値目標を設定して取り組んでいます。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	商品の容器、包材のプラスチック対策	①容器、包装の形状見直しによるプラスチックの削減 ②容器、包材にバイオマスプラスチックや再生PET等代替素材への変更	オリジナル商品の容器、包装に環境配慮型素材使用 2030年60% 2050年100%	サラダ容器にバイオマスプラスチック使用。 手巻きおむすびの包材フィルムの一部をバイオPPに変更等。
(2)	容器包装の削減（レジ袋、カトラリー、ストロー）	①レジ袋有料化（3円～7円） ②お客さまへ必要かどうかの意思確認 ③フォークの配布原則中止 ④店内放送、店頭ポスター、レジ周辺の告知	オリジナル商品並びに用度品を含めた環境配慮型素材の割合2030年までに70%	2022年度レジ袋辞退率（全店舗）は76.6%
(3)	食品ロスの削減の推進	①商品の発注精度向上 ②容器包装の改良等によるロングライフ化の推進	食品ロス削減 2018年対比 2030年50%削減 2050年80%削減	中食商品を対象に値下販売（ファミマのエコ割）を活用し、消費期限の近い食品の販売を推奨。
(4)	店舗の廃棄物削減、リサイクルの向上	①ごみの分別の徹底 ②食品残渣の飼料化等リサイクル		店舗の廃食用油をリサイクルしてハンドソープに使用。

◎取組の実績と今後について

ファミマecoビジョン2050にもとづき、環境に配慮した事業活動を継続

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 株式会社 三越伊勢丹 伊勢丹新宿本店

◎環境・3Rに対する考え方

三越伊勢丹グループは、お客さまをはじめ、かかわりあるすべての人々と向き合い、人と地球環境が調和する持続可能な社会の実現に向けて、環境保全活動を社会に対する企業としての責任と捉え、実行していきます。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員・取引先販売員への教育 ・環境に配慮した包装方法の推進 ・スマートラッピングの推進 →店内放送等によるお客さまへの呼びかけ ・三越伊勢丹オリジナルコンパクトバッグの販売による、マイバッグ使用のお声かけ(推進拡大) ・マイバッグの配布(中元歳暮等粗品)と普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・容器包装使用量の前年度比1%以上削減 	前年比+7%
(2)	資源の店頭回収の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品お引き取りキャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品回収キャンペーンの実施と、回収量前年比3%アップ 	—
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員教育の推進 ・クリスマス、節分などの予約販売推進拡大や、果物をジュースなどの加工販売 ・天候を踏まえた販売計画 ・食品廃棄物総量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品廃棄物総量の前年度比3%以上削減 	前年比+17.9%
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー等の検討、ゼロカーボンの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員・取組先販売員に対する分別教育の実施(年2回) ・食品、レストランテナントへの生ごみの分別依頼の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル率75%以上 	82.10%

◎取組の実績と今後について

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 株式会社 小田急百貨店 新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

小田急百貨店は、「企業活動を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、百貨店業としての自覚と責任を心がけ、環境保全に配慮し、地球環境にやさしい生活提案を行い、環境に負担をかけない豊かな社会生活の実現に貢献する企業活動を行います。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	・マイバッグキャンペーンの推進 (手提袋をご不用とされた小田急ポイントカード会員のお客さまに、1日1回5ポイント付与) 及び スマートラッピングの推進 ・既存手提袋型数の見直し	・紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量前年比20%削減(数量換算、売上増減率に正比例)及びプラスチック製手提袋使用量対前年30%削減(数量換算、売上増減率に正比例) ・2型削減	・紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量対前年比22.4%削減。 プラスチック製手提袋使用量対前年25%削減 ・1型削減実施
(2)	資源の店頭回収の推進	・アパレルメーカーと協力して、不要衣料品の引取りキャンペーンの実施	—	・計画通り実施
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・食品残渣の飼料化推進 (日本フードエコロジーセンター)	—	・計画通り実施
(4)	事業系ごみの削減(再生可能エネルギー等の検討、ゼロカーボンの推進)	・湿式シュレッダーの利用による事務用紙リサイクルの推進	・廃棄物最終処分量5%削減(対前々年)	・廃棄物最終処分量対前々年26.1%削減

◎取組の実績と今後について

2022年度は新型コロナの営業活動に対する影響も2021年度より弱まり、お客様の来店および売上も回復傾向であった。その一方、10月2日をもって新宿店本館の営業を終了し、紙製包装紙、同手提袋、同一般袋使用量及び事業系ごみの削減数値目標を達成した。2023年度はハルクのテナントの1つとして営業していくこととなるが、オーナーと協議しながら実行可能な活動を行い、廃棄物の削減に引き続き取り組んでいきたい。

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : (株)京王百貨店

◎環境・3Rに対する考え方

京王百貨店は、地球環境の保全を常に念頭に置いて企業活動を行い、「人のよろこびを大切に」をモットーに、人と環境にやさしい企業を目指します。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①当社買物袋の有料化: プラスチック製ならびに紙製買物袋の有料化を実施し、お客様のマイバッグ利用促進と買物袋使用量削減を促進。 ②スマートラッピングの推進:お客様へ簡易包装のお声かけ、社内で適正サイズの包装資材の使用を推進 ③オリジナルマイバッグの販売:収益の一部を「高尾の森づくりの会」へ寄付	①, ②容器包装使用重量の前年原単位比減を目指す。 ※原単位＝容器包装使用重量÷購買客数	①, ②容器包装(ポリ袋・紙袋・包装紙等)原単位比59.3%削減 ③実績1,248枚※①, ③による収益の一部を「高尾の森づくりの会」へ寄付し、植樹・育樹の活動を支えています。
(2)	店頭回収の推進	①衣料品関連の取引キャンペーンの開催(婦人・紳士衣料)②リサイクルショップの常設	年10回～20回開催予定	実施回数: 19回 (前年比10回増) 合計: 82,881点 (前年比: 57,537点増)
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	食品ロス削減につながる商品・使い捨てプラスチック削減につながる商品の展開	—	お弁当の予約販売: 法人企業に対し予約販売と配達サービス 訳あり商品販売: 中元歳暮期において「不揃い」「無選別」「割れ欠け」等の商品販売マイボトル、チタンストロー等の販売
(4)	事業系ごみの削減	①ペーパーレス化の一層の推進。 ②生ゴミ分別を徹底し家畜等の飼料として再利用の拡大を図る。	リサイクル率前年差 向上	新宿店リサイクル率 75.9% (0.8ポイント減)

◎取組の実績と今後について

(1) レジ袋有料化対象外の紙袋も有料化したことにより、容器包装使用が大幅に削減できた。
(2) 店頭回収キャンペーンは、今後も継続実施し、お客様にもご協力いただきながら環境活動に取り組む。

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : (株)高島屋新宿店

◎環境・3Rに対する考え方

- ①紙類(雑紙)分別による焼却ごみの更なる削減の継続推進
- ②食品ロス削減に向けた生ごみ排出量の実態調査と状況改善策の検討、実施
- ③2021年東京オリンピックを見据えた地元環境整備、環境保全活動の継続推進

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	①お客様への簡易包装のお声がけの更なる徹底。 ②食料品ご自宅用買物袋(紙、ビニール)の有料化 ②職員マイバッグ運動の推進	環境データシステム改修に伴い、集計不可。	
(2)	資源の店頭回収の推進	メーカー主催の衣料品回収キャンペーン、きものの悉皆を実施。 環境に配慮した循環型商品の販売・回収「Depart de Loop」の展開	コロナ禍の進行期でもあり、回収数等の目標設定は行わない。	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	社員食堂の生度三(調理くず、食べ残し別)の更なる削減と改善策の検討・実施	社員食堂の生ごみ5%削減	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	紙類(雑紙)分別運動の更なる現場への浸透化 地域冷暖房システムの有効活用によるCO2排出量の削減(新宿南エネルギーサービス)	環境データシステム改修に伴い、高島屋単体での集計不可。 建物全体のごみ総量20%削減。 建物全体のリサイクル率80%削減 CO2排出量5%削減	

◎取組の実績と今後について

--

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : (株)丸井 新宿マルイ本館

◎環境・3Rに対する考え方
丸井グループのミッション＝『すべての人がインクルーシブで豊かな社会』。その中で「将来世代の未来を共に創る」を目指す為、戦略としては、①「再エネ導入・自社発電保有」②「商品・委託先の低炭素化」③「環境配慮型店舗への転換」④「事業構造の最適化」を計画しています。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	再生可能エネルギーの促進 〈丸井G〉	①GHG(温室効果ガス)の排出削減 ②省エネの促進 ③再生可能エネルギーの使用量拡大	①2030年までに80%削減、今年度2%削減(現状68%) ②前年より5万GJ削減(22年度186万GJ) ③22年度より再生可能エネルギー比率+10%(現状61%)	①目標通り2%削減 ②10万GJ削減し達成 ③+10%は未達も+7%まで拡大
(2)	「脱プラスチック」の取組強化 〈丸井G〉	①分別の徹底 ②「脱プラスチック」に賛同するお取引先支援	原材料使用量「プラスチック容器」の継続的削減(▲10%、▲5トン)	削減は、▲40%まで大幅拡大
(3)	分別促進による「リサイクル生ごみ」拡大(新宿店)	カフェ・レストランテナント中心に分別の徹底	「リサイクル生ごみ」量を前年対比2倍を目指す。	リサイクル生ごみは、2.4倍まで大幅に拡大
(4)	リサイクル率の向上(新宿店)	テナントごとに月別リサイクル率を開示し、核テナントのリサイクルに対する意識を高揚させる。	リサイクル率を丸井G目標の「70%」に引き上げる。(新宿店59%+11P)	リサイクル率は、69%と70%に届かず。

◎取組の実績と今後について
丸井G全体の取組の中で、店舗の果たすべき役割を徹底し、社会全体の課題に対する解決を少しずつ改善する。

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：株式会社ルミネ【ルミネ新宿、ルミネエスト新宿】

◎環境・3Rに対する考え方

株式会社ルミネは、「お客様の思いの先をよみ、期待の先をみだす」ルミネ理念のもと、ショッピングセンターの運営事業を行うにあたり、環境保全が極めて重要な課題であることを認識し、ショップ及び協力会社と一体となってその改善に取り組みます。環境マネジメントでは、ルミネ事業ビジョン2030におけるESG経営の実践及びJR東日本グループ環境長期目標の達成に向けて、事業に関わる環境負荷低減の取り組みを推進いたします。

1. すべての店舗及び事業所において省資源・省エネの推進、廃棄物の削減など環境の保全に努めます。
2. 環境目的・目標を定め必要により見直しを行い、当社独自の環境マネジメントシステムに基づき継続的改善及び汚染の予防に努めます。
3. 所定の法令等を遵守し、自主基準の整備により意欲的に環境保全に取り組みます。
4. この環境方針を従業員、ショップスタッフ及び協力会社スタッフに周知徹底させ堅持します。

項目	取組内容	数値目標等	実績
(1) 容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	部内では、引き続き会議資料のペーパーレス化・裏紙用紙の積極的利用・両面印刷の推進を行い、紙資源の使用量削減を図る。ショップとのやり取りもWEBシステムを活用し、紙媒体の使用を控える。	前年実績の1%減	【ルミネ新宿】紙使用量2,003kg/前年比90.8% 【ルミネエスト新宿】紙使用量1,065kg/前年比87.8%
(2) 資源の店頭回収の推進	—	—	—
(3) 食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	【新宿店】各ショップでの対応方法や商品の包装方法の変更について確認。取り組みが進んでいる好事例ショップについて、ショップスタッフに向けて発信する。 【エスト店】飲食店でのプラスチックストローやサステナブルな梱包材の推進を行う。	—	【新宿店】各ショップの取り組みについて集約し、館内バックヤードでスタッフ向けに発信・啓蒙を行った。 【エスト店】飲食店でのプラスチックストローやサステナブルな梱包材の推進を行った。
(4) 事業系ごみの削減 (再生可能エネルギー等の検討、ゼロカーボンの推進)	引き続きゴミの分別を徹底し再利用率の向上を図るためショップスタッフへの働きかけを実施。ショップごとに上記の件を徹底するため、入店前の全スタッフ向け研修の際に、ゴミの分別方法について説明し分別の協力を要請する。また監視と指導を引き続き行う。	—	入店前スタッフに向けた研修にて、ゴミの分別・再利用率向上の働きかけを実施。

◎取組の実績と今後について

2021年度に策定したサステナビリティ方針「WE ILLUMINATE THE FUTURE わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」の取り組みテーマの一つである「THE PLANET 環境と社会にポジティブな変化を」の重点項目「サステナブル消費の拡大」「資源循環、廃棄物/食品ロスの削減」「気候変動への取り組み」「サプライチェーンの環境/人権問題への対応」に基づき、3R推進に貢献する取り組みを推進します。

3R 推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：（株）エフピコ

◎環境・3Rに対する考え方

リデュース：食品容器の軽量化や薄肉化を推進し、原料資源の発生抑制を行う。
 リサイクル：使用済み発泡トレー、PETボトル、透明容器の回収を拡大し、再商品化を行う。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	環境コミュニケーション	環境学習の機会提供のため出前授業や、オンラインによる講演を積極的に実施する。	出前授業等での外部聴講者数。 目標値：3,000名（前年150%）	
(2)	地上資源の回収量	トレーtoトレー、ボトルtoトレーのリサイクルを拡大するために、回収量の増加を目指す。	食品トレー：10,000t PETボトル：50,000t	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	プラスチック代替素材の開発と、製品の取り扱い	商品ラインナップ 10種類	
(4)	事業系ごみの削減（再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進）	<ul style="list-style-type: none"> ■PPAの導入（太陽光発電） ■ゼロエミッション活動 	2022年3月期中に導入 廃棄物の最終処分率1%未満	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：日本マクドナルド

◎環境・3Rに対する考え方

環境に対する理念【地球の事を考えて行動する】を持って全国約3000店舗でレストランを営業させて頂いております。企業の責任として作る責任、つかう責任を常に考え、特にリデュース、リサイクルを促進していきます。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	プラスチック製容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	全国でストロー、カトラリーをプラスチック製から紙製・木製に変更する	年内に100%以降	2022年10月達成 2023年換算約900t削減
(2)	資源の店頭回収の推進	ハッピーセットおもちゃリサイクル回収の継続	2018年以降回収数1500万個	約1505万個
(3)	食品ロス削減の推進	MFYシステムの維持向上	完成品廃棄量100万円当たり2.3kg以下	2,2kg/100万円
(4)	再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進	再生可能エネルギーに由来した電力導入	100店舗	126店舗

◎取組の実績と今後について

再生可能エネルギーの導入のスピードを加速する必要がある

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

◎環境・3Rに対する考え方

「容器の2030年ビジョン」に基づき設計・回収・パートナーの3本柱で「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」を目指します

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	サステイナブル素材使用率の向上	「ボトルtoボトル」等を推進によるサステイナブル素材使用率の向上	・2030年までに、「ボトルtoボトル」の推進等により全てのPETボトルを100%サステイナブル素材に切り替えます	50%
(2)	プラスチック使用量の削減	容器の軽量化やラベルレスの導入によるプラスチック使用量の削減	・2030年までに、2004年比で製品1本あたりのPET樹脂の使用量35%削減を目指します	非公開
(3)	PETボトルの分別回収啓発活動	キャップ、ラベル、PET本体の3分別リサイクルBOX設置等による使用済みPETボトルの最適な分別回収の啓発を行う		パートナーと協働で3件以上実施
(4)				

◎取組の実績と今後について

PETボトルの水平リサイクル「ボトルtoボトル」に加えて、一般的な缶と比較してCO2を25%削減できる「Can to Can」の推進等により資源循環型社会とGHG排出量削減を目指します

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

団体名：新宿区商店会連合会

◎環境・3Rに対する考え方

地域環境に配慮しながら、地域の安心安全を実現する

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	ごみ減量等について会員へ周知	年1回	
(2)	区民・来街者への啓発	エコバッグを作成しレジ袋の発行減を図る	年1回	
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	食料品販売時における消費者への啓もう及びプラスチックトレーの減量、飲食店における食べ残しを無くすメニューの提案	食品ロス分とごみ減量による回収量の低減	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名： 新宿区生鮮三品小売店連絡会

◎環境・3Rに対する考え方

環境への影響が少ない販売方法を工夫するなど、持続可能な循環型社会の構築に向けた取り組みを行っている。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	ばら売りの実施 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況に応じて実施する) オリジナルエコバックを作成し年末に配布予定	随時	
(2)	資源の店頭回収の推進			
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	一山売り販売の促進 ばら売り販売の実施 3Rに配慮した商品の実演 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況に応じて実施する)	随時	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

団体名： 四谷清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

四谷清掃協力会の活動を地域に発信し、住民との対話を行いながら、ごみの減量化やリサイクルの適正化の普及活動を積極的に取り組む。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> 3R推進事業者の情報について、各種会合等の場で周知。 	年数回	年数回、役員会や女性部役員会で情報を共有した。
(2)	区民・来街者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ①四谷リサイクルフェアを開催し、フリーマーケット等を実施する。 ②四谷ごみゼロデーに道路清掃活動を実施。 ③マイバッグキャンペーンを実施し、ティッシュ・チラシを配布。 	年1回 年2回 年3回	<ul style="list-style-type: none"> 四谷リサイクルフェアでは、子供たちが描いたごみ減量絵画の展示も行った。 ごみ減量キャンペーンとして、ティッシュ・チラシを配布した。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①マイバッグの持参 ②商品の簡易包装 ③環境に優しい商品の購入 ④ごみと資源の分別 ⑤繰り返し使えるものは繰り返し使う ⑥食品ロスの削減に向けての取り組み 	毎日	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減講習会に参加した。 各会員が先内容の廃棄物削減に取り組んだ。

◎取組の実績と今後について

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 牛込清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

牛込地区の「エコな暮らし」発言元として、牛込清掃協力会の活動を地域に周知しながら、ごみの減量化やリサイクルの適正化の普及など、3Rの推進に取り組む。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・3R推進事業者の情報を役員会、女性部会等を通して会員で共有する。	年1回	実施
(2)	区民・来街者への啓発	・10月の3R推進月間には、普及啓発用のチラシを町会掲示板へ掲示し、会員とその関係者へ配布。	・年1回 ・随時 ・年1回	実施
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	・マイバッグ、マイボトル持参。 ・環境に配慮した商品を選ぶ。 ・エコクッキングを実践する。 ・リサイクルを徹底し、更にごみを減らす工夫をする。 ・食品ロス削減レシピを活用する。	・毎日	実施
(4)				

◎取組の実績と今後について

エコ川柳について検討する。

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 新宿西清掃協力会

◎環境・3Rに対する考え方

新宿西地区の住民とともに、ごみの減量、3Rの推進に向けた様々な活動を行っていく。
 ※以下の取組みは新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となる場合がある。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	廃棄物を少なくするためにごみ減量キャンペーン等に取り組むことで、事業者と協力して廃棄物の減量とリサイクルの推進を啓発する。	年1~2回	実施
(2)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量新宿フェアを開催し、リサイクルバザー、分別ゲーム等を実施。 ・食品ロス削減及び、ごみ減量キャンペーンを実施し、チラシ、啓発品等を配布。 ・廃棄物を少なくするよう、ポスター・チラシの配布。 	年1回 年2~4回	実施
(3)	ライフスタイルにおける3Rの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみと資源の分別を心掛け、ごみの発生を抑える。 ・マイバッグを持参し、環境に優しい商品の購入につとめる。 ・ライフスタイルを見直し、資源循環型ライフスタイルを積極的に行う。 ・ごみを出さないために、余計なものは買わない。 	毎日	実施

◎取組の実績と今後について

3R 推進行動計画書 (令和4年度の実績)

団体名 : 新宿区婦人団体協議会

◎環境・3Rに対する考え方

地区協などとも協力し、みどり豊かな新宿区を目指し、一人一人が心がけ、輪を大きくしていく。会員をはじめ、各団体にも周知していくよう頑張っていきたい。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	リサイクルについても変わる予定と知ったため、ごみ分別方法の詳細について説明会をもっと多く実施していきたい。	月2回の会食会にできれば毎回実施したい。	月2回の目標でしたが、月1回しか実施できませんでした。
(2)	区民・来街者への啓発	区内の団体の人々の集まり等において、3Rのことを話し、ごみ減量やリサイクルについても話し合いの場を設けていきたい。	月2～3回	0階で、目標値達成できませんでした。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	不用品即売会に参加し成績を上げている。料理は、食材を無駄にしないよう心掛けている。	年1回バザー。できれば数回実施したいと思う。	実施できませんでした。

◎取組の実績と今後について

3R 推進行動計画書（令和4年度の実績）

団体名： 新宿区エコライフ推進協議会

◎環境・3Rに対する考え方

当会は、新宿区の環境基本条例に基づき区長から「エコライフ推進員」を委嘱された区民で構成する会です。自らエコライフを実践するとともに、地域においてその普及のための活動を行います。今年度第10期として任命された推進員が、①みどり・生き物分科会、②ごみの減量とリサイクル分科会、③地球温暖化対策・エネルギー分科会に分かれ、研究及び普及活動をしています。

	項目	取組み内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員に周知	エコライフ推進協議会にて随時周知	会議にて周知
(2)	区民・来街者への啓発	環境啓発行事における普及啓発 (ごみ分別の展示等) パネルを使用した展示	「エコライフまつり」「まちの先生見本市」等毎年度参加	「エコライフまつり」「3R推進キャンペーン」「まちの先生見本市」参加
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	マイバッグの使用 過剰包装を断る ごみ分別の徹底	随時	日々の生活の中で各自が心掛けて実施

◎取組みの実績と今後について

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

事業者名：NPO法人新宿環境活動ネット

◎環境・3Rに対する考え方

平成15年8月に発足した当NPO法人は、平成16年から新宿区立環境学習情報センターの指定管理者として、自らごみ問題に関心を持つとともに、広く区民・事業者が「リデュース」から始まる3Rをくらしに生かす大切さに気づき、実践に移すことを目的に実施していく。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	容器包装の削減 (レジ袋・紙袋・包装紙等)	イベント等でのマイバック持参の呼びかけ	イベント・講座の開催時には、マイバックを持参するよう呼びかける。	
(2)	区民への3R啓発	3Rに係わる講習会の実施 新宿区立環境学習情報センターでの資源回収の推進	3Rに関連する講座を2回実施予定 廃食油の回収、エコキャップの回収などを実施	
(3)	3Rに配慮した備品の購入・利用の促進	再生品の積極的な購入	コピー用紙は再生紙を購入	
(4)	事業系ごみの削減 (再生可能エネルギーの活用などゼロカーボンの推進)	新宿区立環境学習情報センター及び区民ギャラリーのごみ分別の推進及びごみ排出量の削減	前年度排出したごみの量より削減	

◎取組の実績と今後について

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

団体名 : 新宿区のリサイクルを考える会

◎環境・3Rに対する考え方

ごみ・資源の問題について、現状、システムや処理のあり方などを調査・学習し、講演会、懇談会やイベントなどでの展示を通じてそれを区民と共有しながら、新宿区の望ましい環境の実現に努めます。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	・プラスチックのトレイ、ペットボトルのリサイクルについての見学、学習	・見学1回(11月30日) ・環境講座(リサイクル活動センター主催)に参加1回	エフピコ関東リサイクル工場を見学。エフピコによる環境講座「トレイ・ペットボトル回収のその先」に会員有志参加
(2)	区民・来街者への啓発	・「代替プラスチック」についての講演会開催(7月4日) ・3R関連イベントにパネル展示	約30名参加	「代替プラスチックとその課題」の講演会開催。消費生活展、3R推進キャンペーン、プチこどもまつり等3R関連イベントにパネル展示。
(3)	ライフスタイルにおける3Rの推進	・紙おむつリサイクル推進協会会長と話し合い		「紙おむつのリサイクル」などについて調査と学習

◎取組の実績と今後について

コロナ流行の影響で、中途半端のままの学習が多い。まず「紙おむつのリサイクル」を手始めに、一つずつまとめ深めていきたい。

3R推進行動計画書（令和4年度の実績）

団体名： 新宿環境リサイクル活動の会

◎環境・3Rに対する考え方

次世代を担う子供たちに良い環境を残すために、地球を汚さないいろいろな工夫を、講座やイベントを通して区民に平易な言葉で伝えていく。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	3R推進事業者の情報について会員で共有・発信する。 イベントの開催に協力する。	宣伝周知チラシや情報を打合せ会で伝え、話し合う。新宿リサイクル活動センターの取り組みにできる限り協力する。	例年通り、新宿リサイクル活動センター（高田馬場）での協働講座において全面的に協力しあった。
(2)	区民・来街者への啓発	3Rに係る講習会の開催。環境リサイクル講座やイベント参加を通して情報提供と啓発活動。 （10月の3R協議会のイベントと、新宿リサイクル活動センターが開催するイベント3月・11月に参加）	環境リサイクル講座は年19回開催。目標参加者数152名。（MAX8人×19回）環境リサイクル講座の充実に専念する。	令和4年度は合計19回開催。応募者228人、参加者150人、スタッフ88人。
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	日々の生活の中で、風呂敷を活用し、マイバック、マイボトル、マイはしをできるだけ持ち歩く。食品ロス削減に尽力する。マイクロプラスチック削減のためライフスタイルを見直す。（自然素材のものを身につける等各自努力する。エコキャップを素材としてリサイクルできることを周知する）	各自が日々の生活の中で取り組む。	日々の生活の中で各自取り組んだ。

◎取組の実績と今後について

まずは今まで同様の啓発活動を続け、少しずつ受講生を増やしていきたい。会員増加のための努力を重ねた結果、次年度から会員が4名増加。新しい講座なども徐々に企画していきたい。また新宿リサイクル活動センターのニュースの中の原稿でも啓発を続けていく。

3R推進行動計画書 (令和4年度の実績)

事業者名 : 公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター
(新宿区立リサイクル活動センター)

◎環境・3Rに対する考え方

当財団は指定管理者として、新宿リサイクル活動センター及び西早稲田リサイクル活動センターの運営を行っている。リサイクル活動センターが運営理念とする「3R、つなぐ、育む、まわるまち」の実現を通して、新宿を「資源」が循環し、人や組織の持つ暮らしの工夫や知恵、3Rの技術がまわる、資源循環型のまちにしていくための事業を実施する。

	項目	取組内容	数値目標等	実績
(1)	事業者への理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「たのしくリサイクル」の発行 ・ホームページによる情報発信 ・環境学習、施設見学等の受入れ ・環境、リサイクルイベントの企業、団体等の参加協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回 ・随時更新 ・年30回 (延べ200人) ・年3回 (延べ65企業、団体等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回 ・随時更新 ・年26回 (延べ239人) ・年2回 (延べ18企業、団体等)
(2)	区民・来街者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・リサイクルイベントの実施 ・3R普及啓発ミニ行事 (フリーマーケット、洋服ポスト、フードドライブ) ・チラシによる講座等の周知 ・環境、リサイクル講座の開催 (協働型講座、直営型講座、出前講座) ・ホームページでの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回 ・月4回 (フリマ) (5週目の土日等を除く) ・月1回 (洋服ポスト、フードドライブ) ・毎月1回発行 ・協働講座：年28回 ・直営講座：年12回 ・出前講座：年14回 ・随時 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回 ・月4回 (フリマ) (5週目の土日等を除く) ・月1回 (洋服ポスト、フードドライブ) ・毎月1回発行 ・協働講座：年28回 ・直営講座：年12回 ・出前講座：年20回 ・随時
(3)	食品ロス・使い捨てプラスチック削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収ボックス等の設置 ・事務所にて廃食油の回収 ・リサイクルショップ「もいちど倶楽部」の運営 ・家具リユース事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・9品目の回収 ・回収量500L ・利用登録者 2,200名 ・販売点数 36,000点 ・販売率 80% ・家具販売点数 480点 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収実施 ・回収量585L ・利用登録者 1,989名 ・販売点数 37,578点 ・販売率 79.2% ・家具販売点数 447点

◎取組の実績と今後について

本年は新型コロナウイルス感染症の影響でアトムフェスタが中止になるなど一部の事業で達成できない取組みがあったが、そのほかの事業では、新しい日常に則した事業運営を行い、おおむね目標を達成することができた。引き続き着実な事業運営を心掛け、区民の3R活動の拠点施設としての事業を展開していく。

3R推進行動計画書

(令和4年度の実績)

新宿区

◎環境・3Rに対する考え方

令和2年度から実施されたレジ袋有料化により、区民のプラスチックごみ削減の意識が高まっている。令和3年6月には新宿区は「ゼロカーボンシティ表明」を行い、区は区民・事業者と一体になって、ごみ発生抑制に向けて連携・協力していく必要がある。

	項目	取組み内容	数値目標等	実績
(1)	普及啓発及びその他体制の整備・拡充	<p>広報紙、ホームページ、環境学習、行事での普及啓発</p> <p>リサイクル活動センター、環境学習情報センターによる普及啓発事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら実施を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減セミナーの動画配信 本庁舎1階展示コーナーにて行動計画書の掲示
(2)	事業者、区民団体が行う3R活動の広報	<p>イベント等の実施</p> <p>区広報による周知</p> <p>ホームページでの周知</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら内容を変更し実施を検討する</p> <p>随時</p> <p>随時</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3R推進キャンペーンイベント開催 本庁舎にてパネル等展示
(3)	適正なごみ処理とリサイクルの推進	<p>「ごみ半減、リサイクル倍増」に向けた区民への排出指導や資源回収への支援</p> <p>分別の徹底による資源化の推進</p> <p>新宿区環境マネジメントシステムの推進による、区役所から出るごみの削減</p>	<p>令和3年度区民一人1日あたりごみ量563g</p> <p>区役所から出るごみ量：前年度比1%減</p>	<p>令和3年度区民一人1日あたりごみ量552g</p> <p>区役所から出るごみ量：前年度比10.5%減</p>
(4)	各種調整等	<p>新宿区3R推進協議会全体会、分科会の開催</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら実施を検討する。</p>	<p>全体会3回開催</p>

◎取組みの実績と今後について

令和5年2月に「新宿区一般廃棄物処理計画」を改定し、内包する「新宿区食品ロス削減推進計画」を策定しました。ごみ量の削減、食品ロスの削減を一層推進していきます。